

1003 山の標高値

JJ1SXA/池

4月1日(2014年)、国土地理院は、日本の主な山の標高値を改定した、これは、GNSS 測量等、新たな測量技術の発展・普及に伴い、全国の三角点の標高成果を新しい値に改定することによるものです。

GNSS とは、人工衛星からの信号を用いて位置を決定する衛星測位システムの総称で、GPS、GLONASS、Galileo 及び準天頂衛星等の衛星測位システムがあります。

これにより、日本の主な山岳 1003 山のうち 48 山で1m高く、39 山で1m低く標高値が変更になりました。

今までにも時々変更が行われていたようですが、今回は 87 の山を同時に変更という事でニュースになったようです。

ご存知、日本で一番高い山は、富士山で 3,776m、山梨県・静岡県にまたがっています、では、二番目はというと、北岳 3,193m で山梨県にあります、以下は、奥穂高岳 3,190m 長野県・岐阜県、間ノ岳 3,189m 山梨県・静岡県、槍ヶ岳 3,180m 長野県といった具合で、ここまでが TOP5 です。

その後、TOP6～TOP21 までが、3,000m を越していますが、この前テレビで見ましたが、1,213m だった、箱根の金時山は、1m低くなり、1,212m となりましたが、みやげ物屋さん、こぼしていましたが、みやげ物に1,213mを入れているが、直すとなると相当な費用がかかり、それだけでは無く、1,213m にちなみ、12 月 13 日を金時山の日としていたが、困りましたと言っていました、矢張り、標高値の変更は地元にとっては悲喜こもごものようです。

TOP22 以降の、3,000m 以下の山でも、有名な山が結構あります、劔岳 (2,999m 富山県)、甲斐駒ヶ岳 (2,967m 山梨県・長野県)、木曾駒ヶ岳 (2,956m 長野県)、西穂高岳 (2,909m 長野県・岐阜県)等は高い山といった認識でしょう。

火山国、地震国の日本の国土は、火山の大噴火や、大地震による地殻変動で、姿・形が大きく変わるのには止むを得ないことかなと思っています、日本沈没が起きなければ、それで良いでしょう、南太平洋の島国では、現実に、沈没で国が無くなってしまいかも知れないとの危惧があります。

私の生家は海岸に面していて、子供の頃は 30m 以上の長い砂浜がありました、現在は侵食されて、屋敷の石垣からそのままテラポットの海です。

私が生まれる前は、私の知っている砂浜どころでは無く、ちょうど波打ち際あたりに道路があり、その先も砂浜だったらいい、引き潮の加減でたまに、道路の名残の硬い地盤が顔を出す時があり、本当なんだと納得しましたが、変わり果てた姿に、今の子供たちには、想像もできないでしょう、あの長い砂浜は何故海に消えたのか？

帰る機会も少なくなったが、変わり果てた故郷の姿に一抹の寂しさを感じます。